

中 岳



熊本市歯科医師会会誌

第 73 号

中根俊吾会長再選!!
平成2年度通常総会開催さる
新役員、委員、支部長決定

目 次

会長就任挨拶	中 根 俊 吾	2
平成2年度通常総会報告		3
平成2年度代議員会開催さる		7
新執行部誕生		8
委員会名簿		13
新執行部 熊本市長表敬訪問		15
第2回三齒会座談会		16
平成2年度臨時総会報告		17
第4回ビデオ研修会	成 松 賢 二	19
第5回ビデオ研修会	添 島 正 和	21
第19回天草パールラインマラソン	村 上 辰 郎	21
税務説明会開催される	医療管理委員会	22
委員会だより	厚生委員会	23
勉強部屋		
抜歯後感染一慢性化膿性顎骨骨髓炎	伊 東 隆 利	25
サンアントニオ市を訪れて	川 口 辰 彦	28
本日休診	伊 東 隆 利	30
新入会員紹介		32
会 務 報 告		33
編 集 後 記		

表紙の写真

「ぼくらの作ったこいのぼり」

南阿蘇にて

会長就任挨拶



歯科界の大きな転換期に向かい！

熊本市歯科医師会会長

中 根 俊 吾

このたび、会員皆様の御支援と御推薦を頂きまして栄誉ある熊本市歯科医師会の会長に再任いたしましたことになりました。

不肖、私が再度会の執行を担うことになりましたのは身に余る光栄でありますと共に、現今の歯科界が直面している諸問題に考えを至すとき、誠に責任の重大さを痛感しているところで

す。今期の執行に際しても前期同様、会務の状況や内容などを知って頂き、又、会員先生方のご意見を充分に反映させると共に、一期目三年間の反省点をふまえて、会務の運営に当たりたいと存じますので、今迄以上のご教示とご協力を心よりお願い申し上げる次第です。

ところで、私共の熊本市は、この二月に四町合併を果し、政治、経済、社会などの機構が変貌し、将来に向けて大きく飛躍していくものと思われ

ます。殊に、保健医療、福祉の面については、国の方針に沿って地方自治体レベルでの施策が主体、中心として進められる方向にあります。

この観点から、私共の熊本市歯科医師会に対しても、好むと好まざるとに関わらず、地域の独自性を持った、地域に根ざした歯科保健医療の将来への展望や、具体的な施策が求められて来ることは疑いのないところであると存じます。

云い換えれば、熊本市歯科医師会という組織と歯科医療、保健の社会的役割りが益々大きく

なり、重要になっていることを意味しています。又、同時に歯科医師の将来への評価を決める大きな転換期にさしかかっていると考えられます。

この時に当って、私共は悔いの残らない、誤りのない対応を心掛けていく必要があります。

この様なことから、今後は対外的な実動を伴った活動が、今まで以上に求められて来ることでしょう。そしてそれにどの様に対処していくかが私共に課せられた大きな課題であります。

その為には、政治力も必要になるでしょうし、地方自治体や保健所、又、医師会をはじめとして医療専門団体連合会などと、どの様な形で連携を強めていくのかなど、問題は山積みしています。

今後は、関係機関と十分な検討を加えながら行政が公的責任として分担する部分と、私共が専門団体の職責として分担する部分の役割りを明確にし、地域における歯科保健の支援と推進体制を築き、社会の要請に応えていかねばならないと存じます。

それには、対内的な問題を適確に処理していくことが肝要です。茲に、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますよう、切に願います次第です。

最後になりましたが、新執行部への御理解とお力添えの程を、改めてお願い致しまして就任のご挨拶といたします。

平成2年度

熊本市歯科医師会

通常総会 報告

- 選挙 (・新会長に中根俊吾先生
・新監事に山室紀雄先生
宇都宮啓一先生)
- 承認 (・平成3年度事業計画案
・平成3年度予算案)



3年間の会員、役員の労苦に感謝の意を述べられた中根会長

平成2年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が去る平成3年3月8日(金)午後7時30分より熊本県歯科医師会会館3階ホールに於いて行われたのでここに報告致します。

- 1 開 会
- 2 議長選出 林 正之 先生
- 3 物故会員に対する黙祷
- 4 会長挨拶 中根俊吾 会長
- 5 議事録署名人選出
矢毛石豊 先生
柿原訓 先生
- 6 会務報告 関 剛一 専務理事
- 7 庶務報告 菅 原 洋 常務理事
- 8 会計報告 杉 野 陽二郎 常務理事
- 9 監査報告 山室紀雄 監事
- 10 代議員議長審議経過報告
岩本義人 先生
- 11 議 事

- 1) 平成3年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件 承認
- 2) 平成3年度熊本市歯科医師会(一般会計)予算案の承認を求むる件 承認
- 3) 平成3年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)予算案の承認を求むる件 承認
- 4) 平成3年度熊本市歯科医師会共済会計予算案の承認を求むる件 承認
- 5) 平成3年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件 承認
- 6) 熊本市歯科医師会会長・監事選挙に関する件

新会長・中根俊吾先生
新監事・山室紀雄先生
宇都宮啓一先生

以上3名の先生が当選されましたので伊東武嗣選挙管理委員長より当選証書が授与されました。

- 12 協 議
- 13 閉 会



監査報告をされる山室監事

中根会長

抜粋

平成2年度総会挨拶

本日の総会は任期3年の最終の総会になりますので、この一期を振り返って一言、お礼を申し上げます。3年前に会長に就任しました折に、正常な会の運営には出来る限りの会務の状況や、内容などを情報としてお知らせしながら、会員先生方の意向や、疑問を機会あるごとにお聞きして、それに検討を加えながら実行可能なものから順次、会の運営に反映していく、そのことで歯科医師会に理解と協力を得ていきたい。その皆様から頂いた意見の中から、

2、3の事柄、例えば急病時の代診制度や、救急病院との連携などを皆様のご協力によって発展させることが出来たことは、せめてもの幸せであったと思っています。今後、先生方のご指導とご協力で益々充実を図り、守り育ていかれることをお願いしたいと存じます。ここに、この任期中に賜りました、会員先生方のご寛容に心から感謝を申し上げご挨拶といたします。

庶務報告

H3・2・26現在

1. 現在会員数 298名

一般会員 230名
親子会員 12名
終身会員 50名

勤務会員 1名
特別会員 5名

2. 入会者

H元年度分	H2.	3. 8	川 元 直 子	熊本市上熊本3丁目19-20	
		3. 26	森 永 マユミ	" 春日町1丁目17-3	
		3. 29	中 西 久 和	" 水前寺1丁目1-26	
H2年度分		5. 30	西 濱 亮 介	" 水前寺公園8-1	
		7. 3	岩 井 泰 介	" 水前寺1丁目17-32	
		7. 30	上別府 敏 之	" 水前寺6丁目10-30	
		8. 9	大 川 智 弘	" 帯山目1丁目17-15	
		8. 31	丸 田 兼 堂	" 近見町1226-6	
		"	清 水 弘 光	" 八景水谷1丁目6-40	
		9. 4	斉 藤 忠 継	" 中央街3-3	
		10. 26	萱 野 至 仁	" 砂原町570-3	
		10. 29	広 田 達 也	" 河内町大字船津2111-4	
		12. 3	松 永 久	" 水前寺2丁目19-16	
		12. 25	原 田 教 二	" 渡鹿6丁目8-26	

北部1
南部
東部2
"
"
"
東部3
川尻
北部2
中央
小島
"
東部2
東部1

3. 物故者

H2.	8. 10	佐 藤 毅	熊本市水前寺5丁目18-2
	8. 30	菊 池 英 一	" 保田窪1丁目10-41
	"	吉 崎 久 男	" 九品寺1丁目1-6

東部2
東部3
東部1

4. 退会者

H2.	12. 3	本 田 和 裕	熊本市紺屋今町1-5
-----	-------	---------	------------

中央

5. 代表歯科医変更

(聖ヶ塔病院)	柿 原 訓 一	篠 原 威 雄
(飽田病院)	丸 田 兼 堂	一 塩 田 仁

平成3年度

熊本市歯科医師会(一般会計)

予算案

〈才入の部〉

款	項	費 目	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		会 費	12,126,481	11,933,000	193,481		
	1	均 等 割	2,808,000	2,879,000		71,000	
	2	保険診療負担金	9,318,481	9,054,000	264,481		
2		寄 付 金	574,000	774,000		200,000	
3		過年度会費	8,400	35,105		26,705	
4		預 金 利 子	11,160,000	7,222,000	3,938,000		
5		雑 収 入	814,150	903,000		88,850	
6		前年度繰越金	6,200,000	6,400,000		200,000	
		計	30,883,031	27,267,105			

〈才出の部〉

款	項	費 目	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		事 業 費	13,925,000	12,093,000	1,832,000		
	1	学 術 費	2,390,000	2,000,000	390,000		
	2	口 腔 衛 生 費	1,194,000	1,098,000	96,000		
	3	社 会 保 険 費	684,000	600,000	84,000		
	4	医 療 管 理 費	1,182,000	932,000	250,000		
	5	広 報 費	2,886,000	2,300,000	586,000		
	6	厚 生 費	3,050,000	2,850,000	200,000		
	7	学 校 歯 科 費	1,189,000	1,063,000	126,000		
	8	各 種 委 員 会 費	850,000	850,000			
	9	医 政 費	500,000	400,000	100,000		
2		事 務 費	6,056,150	6,248,000		192,450	
	1	渉 外 費	760,000	500,000	260,000		
	2	俸 給	1,412,400	1,335,600	76,800		
	3	諸 給 与	1,116,750	980,000	136,750		
	4	旅 費	435,000	300,000	135,000		
	5	需 要 費	1,100,000	1,200,000		100,000	
	6	事 務 所 費	72,000	172,000		100,000	
	7	備 品 費	500,000	1,000,000		500,000	
	8	雑 費	660,000	761,000		101,000	
3		会 議 費	4,500,000	4,260,000	240,000		
4		役職員厚生費	939,000	1,034,000		95,000	
	1	役員退職積立金	588,000	504,000	84,000		
	2	職員退職積立金	1,000	180,000		179,000	
	3	厚 生 費	350,000	350,000			
5		基本財産繰入金	4,000,000	2,500,000	1,500,000		
6		予 備 費	1,462,881	1,131,505	331,376		
		計	30,883,031	27,267,105			

平成3年度

熊本市歯科医師会(収益事業会計)

予算案

〈才入の部〉

款	項	費 目	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		雑 収 入	8,510,000	8,510,000			
	1	雑 入	8,500,000	8,500,000			
	2	日専連手数料	10,000	10,000			
		計	8,510,000	8,510,000			

〈才出の部〉

款	項	費 目	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		事 務 費	4,621,000	3,660,000	961,000		
	1	渉 外 費	210,000	200,000	10,000		
	2	俸 給	1,206,000	1,140,000	66,000		
	3	諸 給 与	945,000	920,000	25,000		
	4	需 用 費	1,300,000	550,000	750,000		
	5	事 務 所 費	460,000	350,000	110,000		
	6	雑 費	500,000	500,000			
2		会 議 費	1,300,000	1,260,000	40,000		
3		職員厚生費	181,000	510,000		329,000	
	1	退 職 積 立 金	1,000	330,000		329,000	
	2	厚 生 費	180,000	180,000			
4		予 備 費	350,000	500,000		150,000	
5		租 税 公 課	669,850	903,000		233,150	
6		寄 付 金	574,000	774,000		200,000	
7		利 益 見 込	814,150	903,000		88,850	
		計	8,510,000	8,510,000			

平成2年度

熊本市歯科医師会

代議員会 開催さる

平成3年度の事業計画案・予算案を原案通り可決承認！



北部Ⅱの2分化を協議した代議員会

平成2年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会が平成3年3月1日（金）午後7時30分より熊本県歯科医師会館2階会議室で行なわれたのでここに報告致します。

1. 開 会

2. 議長選出

議 長 岩 本 義 人 先生

副議長 栗 原 幸 紘 先生

3. 会長挨拶 中根俊吾会長

4. 議事録署名人選出

田 中 宏 先生

斉 藤 朗 先生

5. 報 告

1) 会務報告 関 剛 一 専務理事

2) 庶務報告 菅 原 洋 常務理事

3) 会計報告 杉 野 陽二郎 常務理事

4) 監査報告 宇都宮 啓 一 監事

6. 議 事

第1号議案 平成3年度熊本市歯科

医師会事業計画案承認を求むる件

第2号議案 平成3年度熊本市歯科

医師会（一般会計）予算案の承認

を求むる件

第3号議案 平成3年度熊本市歯科

医師会（収益事業会計）予算案の

承認を求むる件

第4号議案 平成3年度熊本市歯科

医師会共済会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成3年度熊本市歯科医師会

会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を

求むる件

以上平成3年度の事業計画案、予算案を含む全議案を慎重なる審議のもと原案通りに可決承認された。又協議では代議員側より北部Ⅱの2分化、北部Ⅱ、北部Ⅲとする事が出された。



代議員会で挨拶される中根会長

新執行部誕生



中根新体制を支える14名の執行部



副会長

鈴木勝志

再度の重責を感じて！

熊本市歯科医師会の副会長をお引き受けして3年、任期中も大過なく副会長としての重責を果たさせていただき、役員の方々に会員の先生方におかれましては、ひとかたならぬ御協力と御示唆をいただき大きな失敗もなく責任をほぼまっとうする事が出来ました事に、心より感謝と御礼を申し上げます。

中根会長の御方針に従って3年、短いようですが、色々な事がありました。一番心に残って消す事の出来ないことは、田島理事の御他界と相次ぐ柿原常務との離別でありました。事業では永年心に思い描いていた訪問歯科診療の形作り、長寿の里の事、又医専連の中での仕事等々

ありますが、3年の間に役員の2人を失った事につきましては、中根会長の心を思いやる時、唯心が痛む思いでありました。

時は刻々と時間を刻み、客観情勢は日に日に変化して行く昨今、平成3年度という新しい年度を迎え熊本市歯科医師会も新たな出発が中根会長を中心に役員会員ともども始まるわけです。3年任期の役員の中で今年度も継続という事で会長より委嘱を受け、再び副会長という重責を仰せつかりその責任の重さに心引きしめる思いがします。とにかく中根会長の御方針に従って補佐し、会長の御意志に反する事なく副会長としての役目も心機一転、ひいては全会員の皆さんのためになるような言動をしていきたいと存じます。300名会員になろうとしている市歯科医師会ですが、皆心を1つに会の発展の為に私も一生懸命助力いたしますのでなお一層の御協力と御理解をいただきたく思います。前3年の思い出話に終わってしまったような気がいたしますが

後3年間の出発にあたり、心新たに会の為に力を注ぎ、居心地のよい歯科医師会に発展するよう努力いたします事を誓って挨拶とします。



専務理事

関 剛 一

歯科界の社会への
アピールの必要性

前期は会員の先生方のご指導のもとつつが無く会務を執行してまいりましたが引き続き今期も専務理事に就任致しました。

医療界全般が冬の時代といわれる中で、あらゆる面から歯科界もその障泥を受けていると同時に大きな変換期に来ていると思います。

この時期にこそ我々歯科医師は大きな眼をもって歯科界を社会にアピールしなければならぬと感じます。

役員全般は前期と変わりありませんが委員は随分と若返りました。その若いパワーで各委員会、会務を執行する所存であります。又、行政、医師会、衛生士会、技工士会を初め各種団体等連携を密にしながらの会務もより一層増加するものと予想されますし、又そうならなければならないと感じています。会の事業そのものが会員の先生方一人一人に反映されます様精励致したく存じますので、これからの3年間御指導の程お願い申し上げます。



常務理事（庶務）

菅 原 洋

原点と研修

常務の職を仰せ付かり、1年が過ぎ、三役の

縁の下となり、理事の間の潤滑油として私自身動いてまいりました。しかし1年間の総括として、私自身の未熟さゆえに残念ながら歯車が今一つ咬み合わない状態に深く反省をしております。本来歯科医師会は設定された目標に向って協調性を持って、英知と努力の結集する組織であると思います。私を含めて役員の皆様と“原点にかえり”21世紀における歯科医師会とは何か！理事会とは何か！代議員会とは何か！総会とは何か！会員とは何か！いま一度“原点にかえり”勉強すべきではないでしょうか。

また若い会員の“横の倫理”に対して“縦の倫理”を研修させるべきではないでしょうか。研修には歯科医師会の研修、歯科医師の研修、会員の研修があり、歯科医師会の研修は会員の持っている能力向上の為に行う組織内教育活動のことであって、会の能率増進と直結するものでなければならない。会員がより広く高い視野に立つ常識人としての養成がなされ、歯科専門研究と人間修養と相まって人間的倫理的に成長していくが、会員の積極的参加意欲の元でなされる必要があります。

終わりに若い先生方にも大先輩の先生方にも“微笑のある本会”にしたいと思っております。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



常務理事（会計）

杉 野 陽二郎

会費の改正を考慮

中根会長2期目、代役1年を無事終了としておりましたが今期常務理事（会計担当）を引きつづき仰せ付かりました。市歯会員の会務をになうにあたり、責務の重さをひしひしと感

じています。1年間会計の仕組み、金銭の流れなど勉強しましたがまだまだ勉強不足の感が残っております。

県歯会では財務検討委員会で会費徴収の方法並びに算定方式等についての答申がなされ、定款の財産の管理及び会計規則などの改正がなされています。市歯会でも今後、規則、会費等の改正を真剣に考慮していかなければならないと思っております。現実的にはとても厳しい医療界ですが微力ながら本会の発展のため、努力する所存です。会員の先生方の御指導、御協力をお願い申し上げます。



社保担当理事

本 田 亘

診療報酬のアップに
一層の努力

中根会長のもとで3年間社保を担当してまいりましたが、この度2期目も社保担当理事を仰せつかりました。過去3年間を振り返ってみますと、3回の診療報酬点数改正（1回は消費税に対する改正）があったにもかかわらず、3回を合わせてもまさに“すすめの涙”程度のアップにとどまっています。諸物価の高騰に比して、診療報酬アップ率の低さ、患者数の激減、収入の頭打ちと歯科界はいよいよ憂慮の時代に入っています。このような情勢の中で社保委員会の責任の重大さ、更に一層の努力の必要性を再認識し今後の諸々の問題点に対処していきたいと思えます。会員の皆様の御鞭撻、御協力の程よろしくお願い致します。



厚生担当理事

古 賀 明

二大厚生行事の見直し！

厚生委員会に携わって3期9年、開業年数と殆んど同じ期間です。今期は理事という事で、大変気が重くなっております。厚生の第1の目的は親睦となっておりますが、一般社会同様歯科医師会も高齢化が進み、70才以上52名、60才代27名、50才代41名、40才代94名というように市の会員約300名の中で、60才以上は約1/3を示める割合となっており、親睦だけで良いのかと頭をよぎる昨今です。

さて厚生の二大行事、新年パーティは毎年同伴含めて、200名前後の出席を頂き感謝しておりますが、もっと数多くの会員の先生方が、なごやかな雰囲気の中で酒を酌み交し雑談し、気楽に参加できる会合が新年パーティと考えており、催し物等で会員の先生に負担をかける考えはありません。

又バレーボール大会は年々に技術が向上し、ハイレベルの試合となっておりますが、難しい問題も出て来ておりますので、再度ルール、参加資格等で委員会及び、支部長先生方と相談の上で続行したいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。



学校歯科担当理事

岡 田 知 久

市歯科会年史の
完成を目指して！

再び学校歯科担当理事を仰せつかりましたが、前年度の任期を大過なく終わりました事は委員

会の先生方の御理解と御協力によるものと感謝しています。任期の3年間に事業計画を実行してまいりましたがまだ計画を実行してない、特に「熊本市歯科医師会年史」等がありますが今年度はある程度めども立ちましたので任期中に何とか完成させたいと思っています。又平成3年度より学校歯科医が生徒数1000名以上校医2名になりましたが御協力下さいました諸先生方に感謝致します。思いますに3年間学校歯科を担当いたしましたが何せ私自身不慣れなせいもあり、委員会の先生方には大変御迷惑をお掛けしました。今期は委員会の先生方と人の和を大切に、和気あいあいとした雰囲気の中で相互協力し事業計画を実行していき、会員の先生方に少しでも為になるよう微力ながら努力していきたいと思います。今後も御指導、御鞭撻の程宜しく御願い致します。



医療管理担当理事

富田 久之

代診制と

救急医療体制の確立！

私が医療管理委員会の担当理事として中根会長より委嘱されまして早くも3年が過ぎました。何もわからない私が曲がりなりにも委員会の仕事を遂行出来たのは会員の先生初め委員長のお陰だと感謝しております。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。当委員会が行いました主な事業として「急病等における代診派遣制度」や「院内における救急事故発生時の後方支援病院の確立」等がありますが、この度再度当委員会の担当理事を委嘱されましたので上記事業の遂行のほか少しでも会員の先生方にメリットのある事業を行って参りたいと思っています。宜

しく御協力お願い致します。



広報担当理事

寺 脇 博

魅力ある会誌づくりを
目指して！

中根俊吾会長より広報担当理事の拝命を受け早くも3年が過ぎてしまいました。自分なりに広報誌として変化をもたせて、少しでもみなさまがたに読まれるような会誌づくりを目指したつもりです。その間、印刷所も歯科医師会の仕事は初めてということで、ご投稿いただいた先生方に多大な御迷惑をおかけいたしましたことありました。また時折「今度の会誌のどこどこはおもしろく読みました」と一声掛けていただいた時の嬉しさは何物にも変えがたいもので、また努力したかいがあったと思うほどでした。また過去3年間頑張っていた委員の先生方へはなんと感謝してよいかわかりません。予算の関係と称し、旅費なしの委員会を何回もおこない、多い月は3回以上の出勤をしていただきました。それでも文句もいわず頑張ってくださいました先生方に深く感謝する次第であります。また次期広報担当理事の命を受けるにあたり、痛感する事は広報という事業は新しいアイディアが湯水のごとく出てこないとすぐマンネリ化し、おもしろみのない会誌になってしまうということです。こればかりは若い新しい先生方の力を借りねばならぬことであると思います。3年間という長い間一緒に働いてきた先生方には、本当に感謝して感謝しきれものではありませんが、広報活動という性格上、委員会の先生方の交替はやむをえないものと思います。私の広報担当理事としての使命は、会誌の質をどこまでも高めてゆくと同時に、すばらしい考え方を持

った若い先生方に広く広報活動に参加していただくことに帰すると思います。広報活動をとおり、より多くの先生方と出会いを大切に、歯科医師の地位向上を目指していきたいと思ひます。どんな些細なことで、何についてでも結構ですので御意見あるいは会誌についてのご感想をたくさん寄せられることを願っております。



口腔衛生担当理事

矢毛石 豊

新しく理事に就任して！

本年4月より口腔衛生の担当理事を仰せつかり、責任の重さを感じております。口腔衛生の普及については、故田島宗穂先生、青木元理事に9年間の御指導を受けて来ましたのでいささかの経験は持っておりますが、いざ担当ということになって、はたして両先生のような立派な執行が出来るだろうかと不安も持っております。でも、お引受けしました以上、私は私なりに担当分野の活動を展開し、皆様の御期待に添うよう努力致す覚悟です。

口腔衛生の主な行事は「母と子の良い歯のコンクール」に始まり、市立幼稚園児に対するフッ素塗布、3才児歯科健康診査と続く、健全な歯の衛生管理上最も基礎となる重要な一連の行事があります。

また、対外的な活動としては、医療専門団体の行事として行う「健康展」・「天草パールラインマラソン大会」の検診等、口腔衛生思想の普及ならびに関係諸団体との協力活動があります。

最近寝たきり在宅老人の歯科保健推進事業が取り上げられて来ました。保健所及び関係機関

と協力し「訪問歯科診療」が検討されております。

このように、幼児から老人に至るまで幅広く検診指導することにより、口腔衛生に対する意識の高揚をはかる活動を展開することになりますが、このことは患者の掘りおこしともなり、会員の先生方のお役にも立つことにつながって来れば幸いと思ひます。

会員の諸先生方の御指導、御協力をよろしくお願い致します。



学術担当理事

伊 東 隆 利

日常臨床に役立つ企画を！

2期目の中根俊吾会長の下で学術担当を不肖私が今期も仰せつかることになりました。

日進月歩の歯科医療技術、高齢化社会、多様化社会、高度情報化社会を迎え、私共歯科医師会会員にも、研究開発心の向上発想の転換が求められています。

学術委員会は、こうした時代の流れの中で会員及びパラデンタルスタッフの資質の向上に役立つような企画をせねばならないと考えています。

最近では、各大学同窓会、スタディグループ主催の講演会、研究会には目覚ましいものがあり、歯科医師会としての学術活動はいかにあるべきか、委員会内でも討論がくり返されています。

若い会員から、お年を召された会員までまた基礎的なテーマから、先端的なテーマまで幅広く欲張ってはいます。会員のアドバイス、提案を充分に参考にして会員の日常臨床に役立つ企画を行いたいと考えています。

今まで続けられている事業の、各テーマに沿った講演会、日常的、身近なテーマのビデオ研修、基礎研修としての救急蘇生法は引き続き行います。平成3年度から行われる在宅老人訪問歯科診療に対しても熊本市歯科医師会の活動の目的に沿うように企画したいと考えています。

宜しく御協力の程、お願い申し上げます。



監 事

宇都宮 啓 一

故菊池先生の
後を引き継ぎ！

前年度親しくお付合させて頂いた今は無き菊池先生の後を引き継いだということは、私にとって何か感無量のものが有りました。しかし私の短い任期の間、何のお役にも立たず申し訳なく思っております。

この度、再び推選公認を頂き今年度は、しっかり仕事をし御期待に背かぬ様致す所存です。たゞ皆様方もよく御存知の様に当市歯科医師会の会費は他所と比べても非常に低額に抑えております。したがって執行部及び各委員会の御苦勞も御理解頂けるものと思います。その中であって監査するということは何もおこがましい気さえ致します…。しかし又、少ない予算で執行部及び各委員会が頑張っているからこそ、より合理的、効果的な会の運営が行われる様、山室監事と共に見守って行きたいと思っております。



監 事

山 室 紀 雄

会の御意見番として
頑張る！

早春の候、会員の皆様御健勝にてお過ごしのことと存じます。

此の度は、熊本市歯科医師会の監事として当選させていただきありがとうございました。ふり返って見ますと、私も前会長川崎先生のもとで副会長兼専務理事を務め、中根会長になって1期監事を務めさせていただきました。その経験をふまえて又、今期3年間監事として務めさせていただきます。

前期3年間監事として感じました事は熊本市歯科医師会の一般会計の予算が本年度、ようやく3千万円に達したところです。会長はじめ、各担当理事の先生がそれぞれの事業計画に基き、会務を遂行され、貴重な予算を少しの無駄もなく有効に使われている事であります。御存知のように昨年8月30日には菊池監事が病気の為他界され、本当に淋しい思いをしました。今期は菊池先生の後宇都宮先生が監事に当選されましたので、宇都宮監事共々、熊本市歯科医師会の御意見番として頑張っていきたいと思っております。最後になりましたが、会員の皆様方のますますの御発展を心からお祈り致します。

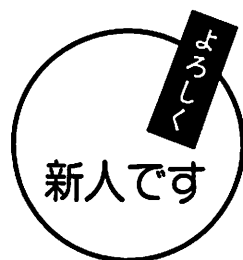
新しい支部長、新しい北部3誕生

中央支部 斉 藤 朗
 北部1支部 田 中 宏
 2支部 緒 方 孝 則
 3支部 斉 藤 健
 東部1支部 坂 本 憲 昭
 2支部 宇 治 道 孝
 3支部 奥 田 良 樹
 4支部 小 田 和 人

西部支部 中 川 順 一
 南部支部 谷 川 貞 男
 小島支部 赤 城 公 徳
 川尻支部 成 松 賢 二

委員会

名簿



理事 □ 委員長 ◎ 副委員長 ○

広 報 委 員 会

□ 寺 脇 博
 ◎ 永 野 忠
 ○ 蔵 田 幸 一
 寺 島 美 史
 奥 田 良 樹
 奈 良 健 一
 古 川 猛 士
 恵 福 和 志

厚 生 委 員 会

□ 古 賀 明
 ◎ 奥 田 洋 実
 ○ 柿 原 訓
 内 田 隆
 吉 永 誠一郎
 西 口 和 弘
 斉 藤 修 身

社 保 委 員 会

□ 本 田 亘
 ◎ 津 田 勝 久
 ○ 稲 葉 逸 郎
 三 苫 司
 松 本 光 示
 有 田 俊 昭
 鬼 塚 友 文

学 術 委 員 会

□ 伊 東 隆 利
 ◎ 添 島 正 和
 ○ 川 崎 俊 明
 永 田 省 蔵
 奥 村 敏 之
 有 吉 洋
 木 村 浩 幸
 菊 川 明 彦
 松 永 久

医 療 管 理 委 員 会

□ 富 田 久 之
 ◎ 赤 城 公 徳
 ○ 藤 波 好 文
 松 本 真 典
 坂 元 和 彦
 鳥 取 孝 治
 田 中 弥 興
 尾 上 宏
 沢 木 孝 明

学 校 歯 科 委 員 会

□ 岡 田 知 久
 ◎ 斉 藤 健
 合 沢 康 生
 忽 那 博 雅
 山 村 定 信
 中 川 順 一
 大 園 正 人
 竹 下 憲 治

口 腔 衛 生 委 員 会

□ 矢 毛 石 豊
 ◎ 岡 本 寛
 与 儀 実 彦
 岩 村 公 一
 笹 原 慎 一郎
 寺 本 豊 徳
 斉 藤 忠 継
 原 田 教 二

歯科医師会の高齢者の 医療対策に感謝の意



より一層の協力を要請される田尻市長

平成3年4月12日午後4時熊本市歯科医師会執行部、中根俊吾会長他9名で熊本市役所を訪れた。まず衛生総務課を訪れ後藤勝介局長、田尻實技監、橋本和朋部長に訪問の挨拶をおこない三氏の案内にて田尻靖幹熊本市長を表敬訪問をした。市長応接室に定刻通りに市長が入室され、中根俊吾熊本市歯科医師会会長が「今回熊本市歯科医師会会長に再選され新執行部となりましたので御挨拶に参りました。また平成3年度の在宅寝たきり者歯科保健事業や長寿の里歯科科室設置、そして学校歯科医の問題更に保健所歯科医師の件など多くの地域歯科保健に御理解と御支援を頂き感謝します」との訪問の趣旨を述べた。これに対し市長は「今まで各会関係者のご協力で高齢者の医療をお任せしてきましたが、今までの行政のやり方では十分とは言えず、本腰を入れてやってゆきたいので歯科医師会の先生方にもお世話になります。来年12月完成予定の長寿の里の歯科科室について、また健康増進センター建設問題でも、いろいろと御協力いただいております。熊本市も四市合併により現在人口が約63万人となり今世紀中には70万人になる予定でいますし、健康問題が市政の重要な課題となっております。今後とも熊

本市歯科医師会のご協力をお願いします。」と挨拶された。続いて熊本市の将来の展望について「熊本市は大正14年頃までは福岡市とほぼ人口が一緒でしたがその後、差がつき現在の状態になっています。九州では国の出先機関が福岡に次いで約半分の10ヶ所もあり大都市としての機能の充実を計る必要があるとおもっています。再来年には全国大物産展を開催する予定ですし、平成5年には熊本駅周辺の再開発が始まります。また平成7年には東バイパスから熊本新港への道路が完成し新港の利用度もずっと増して来ますし、その頃には新幹線熊本乗り入れ問題も実現することでしょう」との説明があったが市長の市政への並々な情熱が感じられた。その後、関係のある課を訪れ、挨拶してまわり市役所を後にした。

特集

第2回

三歯会座談会

『具体的な提案について話し合う』

広報委員会 奥村 敏之
永野 忠



技工士会の要望を聞く市歯会の役員

平成2年11月22日午後7時30分よりスペースファイブに於いて第2回三歯会座談会が開催された。

冒頭で中根会長は「現在の歯科医療についての社会的評価は、決して適切なものではなく、この現況に満足するわけにはいかないと思っています。これから先10年20年後の歯科界を考えた長い展望が必要である。それがデンタルチームの発展と向上に結びつくものだ」と挨拶した。今回はさきに行われた第1回目の三歯会座談会で提出された技工士会の要望の中から退職金の充実、歯科衛生士会からの給料の問題・社会的地位の確保について討議が進められた。

第一の討議内容「退職金の充実」に関しては、他の職種にくらべてまだまだ不安定な今の歯科医院の職場の中で、退職金制度を考えるのは自然の成り行きであり、解決に向けて努力している。歯科医師会の内でこの件については、医療



技工士会の役員のみなさん

管理委員会の中で検討されている。その中で、生命保険に準ずる退職金制度には問題があり、中小企業団体退職金制度がいろんな意味で良いのではという中間答申が出されている。

次に歯科衛生士会からの問題提起に討議が移った。歯科衛生士の初任給が高校卒業程度で、その仕事内容もいわゆる3K（きつい、汚ない、危険）という悪条件の為に転職・離職していく人がかなり多くいる。現在よりも社会的評価を高めて、報酬もそれに見合う額は欲しいという要望であった。これに対して「歯科診療所の収入も逆に落ち込み、他の職種と同じように給与を上げたくても上げられなく、ますます悪条件となってきたのが実情である。これは医療費抑制策と歯科医師会の努力不足だと痛切に感じている。」という返答しか聞くことができなかった。このことはこの問題の底の深さと解決の難しさを示すものであると考えられる。

今回は現実的に歯科医師会が実行できるものについて討議したが、技工士会も衛生士会ももっと私達と話し合い、屈託のない意見を述べられる場を求めている。それに対して市歯科医師会は、医療管理委員と広報委員会の内から2～3人の委員を選び、定期的に会を開くことを決めている。こういう努力が少しでも実を結び、三者の間がよりスムーズな関係になって、明るい歯科医院、明るい職場になって欲しいものです。



熱心に要望に聞きいる中根会長

平成2年度

熊本市歯科医師会臨時総会報告

(平成2年10月31日開催)

平成2年度熊本市歯科医師会臨時総会が、平成2年10月31日(水)午後7時30分より熊本県歯科医師会館3階ホールに於いて行われたのでここに報告致します。

1 開 会

2 議長選出 林 正之 先生

3 会長挨拶 中根 俊吾 会長

4 議事録署名人選出

栗原 幸紘 先生

村上 辰郎 先生

5 報 告

1) 会務報告 関 剛一 専務理事

2) 庶務報告 菅 原 洋 常務理事

3) 会計報告 杉野陽二郎 常務理事

4) 監査報告 山 室 紀 雄 監事

6 議 事

1) 監事 菊池英一先生逝去にともなう補欠選挙に関する件

宇都宮啓一先生に決まりました。

2) 平成元年度熊本市歯科医師会(一般会計)

才入才出決算の承認を求むる件 承認

3) 平成元年度熊本市歯科医師会(収益事業

会計)才入才出決算の承認を求むる件承認

4) 平成元年度熊本市歯科医師会共済会計才

入才出決算の承認を求むる件 承認

5) 平成元年度熊本市歯科医師会退職積立金、

会計才入才出決算の承認を求むる件 承認

6) 平成元年度熊本市歯科医師会基本財産積

立金会計決算の承認を求むる件 承認

7) 平成元年度熊本市歯科医師会入会金会計

決算の承認を求むる件 承認

監査報告

平成元年度

熊本市歯科医師会(一般会計)歳入・歳出決算書

(H 2 . 3 . 31現在)

収入済額 29,604,840 支出済額 20,852,878 残高 8,751,962

〈歳入の部〉

款	項	費 目	予 算 額	収入済額	未収入額	備 考
1		会 費	11,940,000	12,228,080	△288,080	
	1	均 等 割	2,915,000	2,833,000	82,000	
	2	保険診療負担金	9,025,000	9,395,080	△370,080	
2		寄 付 金	919,000	1,031,386	△112,386	
3		過年度会費	13,000	0	13,000	
4		預 金 利 子	5,415,000	5,582,042	△206,095	
5		雑 収 入	1,264,000	1,613,818	△349,818	
6		前年度繰越金	3,900,000	9,149,514	△5,249,514	
		計	23,451,000	29,604,840	△6,192,893	

〈歳出の部〉

款	項	費 目	予 算 額	支出済額	残 高	備 考
1		事 業 費	12,083,000	11,023,682	1,059,318	
	1	学 術 費	2,200,000	2,298,783	△98,783	
	2	口 腔 衛 生 費	1,088,000	1,130,470	△42,470	
	3	社 会 保 険 費	650,000	511,475	138,525	
	4	医 療 管 理 費	1,142,000	965,354	176,646	
	5	広 報 費	2,300,000	2,269,597	30,403	
	6	厚 生 費	2,650,000	2,494,691	155,309	
	7	学 校 歯 科 費	1,053,000	912,312	140,688	
	8	各種委員会費	600,000	186,000	414,000	
	9	医 政 費	400,000	255,000	145,000	
2		事 務 費	5,187,000	4,739,519	447,481	
	1	渉 外 費	500,000	412,982	87,018	
	2	俸 給	1,114,000	1,112,400	1,600	
	3	諸 給 与	840,000	845,826	△5,826	
	4	旅 費	300,000	171,260	128,740	
	5	需 要 費	1,000,000	1,348,032	△348,032	
	6	事 務 所 費	172,000	281,848	△109,848	
	7	備 品 費	500,000	142,140	357,860	
	8	雑 貨	761,000	425,031	335,969	
3		会 議 費	3,780,000	4,087,378	△307,378	
4		役職員厚生費	968,000	1,002,299	△34,299	
	1	役員退職積立金	468,000	468,000	0	
	2	職員退職積立金	180,000	180,000	0	
	3	厚 生 費	320,000	354,299	△34,299	
5		予 備 費	1,433,000	0	1,433,000	
		計	23,451,000	20,852,878	2,598,122	

第4回 ビデオ研修会

「歯周外科手術」

学術委員 成 松 賢 二



ビデオを見ながら解説される川崎委員

平成3年1月30日（水）午後7：30より県歯科医師会館2Fホールにおいて、第4回ビデオ研修会が開催されました。この会では中根会長が提唱されています会員手作りの研修会で、最も身近な日常臨床にそった題材をビデオで研修し、その分野に精通した会員の先生に、学術的な解説をしていただき、併せて社保解説もしていただくシステムです。今回は「歯周外科」をテーマに日大松戸歯科大の松江教授、鹿大歯学部横田助教授の歯周外科手術のビデオを研修し、学術委員の川崎俊明先生に細部にわたり解説、また御自身のスライドをもとに、初期治療から歯周外科まで幅広く講演していただきました。講演内容は次の通りです。

○歯肉炎や歯周炎に対する本来の治療目標

1. 歯肉の炎症の除去
2. 疾病活動度を示す歯周ポケット内の症状（参出液、排膿、出血）の除去
3. 骨吸収および付着喪失の停止
4. 再感染の可能部位である歯周ポケットの除

去または減少

5. 再感染および炎症の再発の予防
 6. 歯周組織の再生による根面への新付着の獲得
 7. 歯肉形態の改善
 8. 至適な機能的咬合関係の確立
 9. 動揺歯の固定
- 歯周手術の目的とゴールは次のように要約される。
1. 直視下での根面の完全な清掃と滑沢化。
 2. プラークが付着する部位、特に病気の進行を促進させる歯周ポケットを減少、除去する。
 3. 炎症やポケット内の疾患の活動性を除去する。
 4. 歯周組織の再生を促す。
 5. 辺縁歯周組織や歯肉歯槽粘膜境の生理的形態の付与を行う。

○歯周手術は歯周治療全体のわずか一部にすぎない。歯周手術がどうしても必要な場合、通常初期治療に続く第2期として行う。患者にはまず、適切なモチベーションと家庭療法の指導がなされなければならない。歯周治療のすべてが完了したら、定期的な間隔のリコールを確立しなければならない（メインテナンス期）。もしメインテナンスを行わなければ、すべての歯周手術は結局失敗に終わることになる。

○Widman 改良法（Ramfjord 法）

1. 第1 切開—スクラップ状切開

スカラップ状切開は、両刃の12B外科用メスを用い、唇側口蓋側に行う。歯槽骨頂に達する内斜切開である。この切開により歯肉組織は薄くなり、術後、歯間部骨欠損が完全に被覆される。歯肉辺縁からの距離は0.5~2mmの間である。

2. 歯肉弁の翻転

全層粘膜骨膜弁をできるだけ損傷させないように翻転するのに剥離子を使用する。歯根面、歯槽骨頂が直視できるよう歯肉弁は翻転される。

3. 第2切開—歯肉溝切開

この切開は、歯の硬組織と病的ポケット上皮間をめざし各歯の周囲の接合上皮の深さまで入れる。

4. 第3切開—水平切開

水平切開は歯槽骨頂にそって入れ、特に歯間部で浸潤組織を健康な結合組織から分離することができる。

5. 直視下でのルートプレーニング

ポケット上皮や結合組織の残遺物を除去するため鋭利なキュレットを使う。くりかえし洗浄しながら全部のルートプレーニング

を行う。

6. 歯間部欠損の完全な被覆

唇側、口蓋側の弁には余分な張力が生じないようにし断続縫合により、歯間部を被覆した状態で閉鎖縫合する。弁は直下にある骨や歯頸部に適合させておくべきである。新しい“乳頭”は第1切開のスカラップ状の形態によってつくられ、歯間部の空隙が広い場合でも歯間部の欠損を被覆することが可能である。

○ウェッジ手術（改良型切開法）

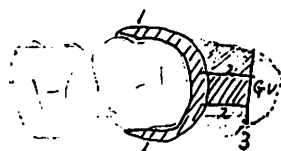
1. 頬側中央から口蓋側中央に向け半月状の内斜切開を入れ、さらに同部に歯肉溝切開を加える。

2. 平行な、くさび状切開を遠心に向かって10mm加える。

3. 平行に入れた切開の遠心端に垂直切開を加える。

4. 歯肉弁形成と翻転のため、歯肉弁の内面に切開を入れる。

5. 歯肉切除により余剰組織を修正する。



最後に出席者全員に質問アンケートをとった結果、ペリオI型を取り入れてる先生は30名中5名と徐々に多くなってきたものの、まだまだ少ないようです。これからも学術、社保、共に力を合わせてI型ペリオの普及に力を入れることが、会員皆様の活路となることと、信じています。ビデオ研修に続き、社保担当理事の本田亘先生により歯周外科についての社保解説が行われた。



第5回 ビデオ研修会

「スルフォン床義歯」

学術委員 添 島 正 和



去る、平成3年3月15日（金）、午後7時30分より9時まで、熊本県歯科医師会館2Fホールにて、第4回ビデオ研修会「スルフォン床について」が、参加者80名と、盛会のうちに開催された。

この日は、まず学術担当の西野先生から、そ話題のスルフォン床についての紹介があり、そ

の後、愛歯技工所デンチャー部の浜崎部長より、ビデオによるスルフォン床の説明と、スライドによる数例の臨床報告がなされた。

内容は、下記の通りである。

〔スルフォン床の臨床報告〕

- 1 スルフォン床とは
- 2 フルデンチャーへの応用
- 3 パーシャルデンチャーへの応用
- 4 修理、リベースについて
- 5 質疑応答

最後に、熊本市歯科医師会の社保険担当理事の本田先生より、社保についての詳しい説明がなされ、無事終了した。

『第19回 天草パールラインマラソン』

“汗走、熱走そしてマイペース”

口腔衛生委員 村 上 辰 郎

第19回天草パールラインマラソン大会は、3月10日（日）午前11時から天草郡大矢野町の町営グラウンドで、大会委員長の加地正隆、熊本走ろう会会長が、「参加者は、“健康の優勝者”もここで競う必要はありません。楽しく走ってください。」とあいさつされて開催されました。

天草パールラインマラソンは、「健康マラソン」として有名であり、快晴に恵まれた今大会には、



健康測定で協力される口腔衛生委員の方々

28名の外国人を含め全国から過去最多の5,355名の参加がありました。参加者は、40歳以上の男子と20歳以上の女子で10km、20kmの2コースで全員が完走をめざして晴れわたった春の天草路をさわやかに走り抜けました。最高年齢者は、今年が15回目の出場の奥山さんで100歳でした。また、熊本市歯科医師会員の奥田良樹先生、西川庄次先生の姿もみかけました。私達口腔衛生委員会の5名（青木理事、矢毛石、分山、弥永、村上）は、この大会の支援団体である熊本市医療専門団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、衛生士会、技士会など）として、健康測定の受付として参加しました。健康測定者は、220名であらかじめ抽選により決定通知した方に限り実施されました。内容は、走行前測定（1. 血圧 2. 検尿 3. 身長 4. 体重 5. 体温 6. 脈拍 7. 心電図）、走行後測定（1. 血圧 2.

検尿 3. 身長 4. 体重 5. 体温 6. 脈拍）の順で行われました。結果については、後日測定者に直接郵送することになっています。天草パールマラソンは、「遅いあなたが主役です。」を合言葉にした大会であり、順位は関係なくタイムをとらないという健康マラソンです。例年、沿道の人気を集める派手な衣裳のランナーが今年も勢ぞろいしました。背中のカラオケカセットからおてもやんの曲を流しながら完走する人、「1円玉の旅ガラス」と銘打ち1円玉のネックレスで趣向を凝らした人、このほかひょっとこ男なども登場して沿道の観衆をわかせていました。

第19回天草パールラインマラソンも2時迄には、事故もなく無事終了しました。最後に会員の先生方、また御家族の方々も健康増進の一環として気楽に参加なさってはいかがかと思いました。

税務説明会 開催される

“100名の参加者集まる”

医療管理委員会



100名が参加し、税務の関心の深さを示した会場

去る、2月16日（土）午後3：00より、スペース5にて、平成3年度、税務確定申告説明会が開催された。

初めに、中根会長より開会の挨拶、続いて熊本東税務署所得税第二部門、佐々木統括国税調査官の挨拶が述べられた。会場には、熊本西税

務署、上園統括国税調査官も出席されており先生他、奥様方、税務担当者等、100名程の人達が熱心に聞き入っていた事からも、現在の税務に対する会員の関心の度合いが伺われる。次に、熊本東税務署 原田統括国税調査官から、所得税について説明が行なわれた。

1 所得金額の計算

総収入金額－必要経費＝所得金額

2 総収入金額

- (1) 社会保険診療収入
- (2) 自由（一般）診療収入
- (3) 雑収入

3 必要経費

- (1) 必要経費とは

- イ 総収入金額にかかわる売上原価
 - ロ 総収入金額を得るため直接に要した費用
 - ハ その年における販売費、一般管理費その他事業所得を生ずべき業務について生じた費用
 - ニ 減価償却費、資産損失、引当金等
- (2) 必要経費の判断に当たっての基本的な考え方
- イ 所得を得るために必要な支出
 - ロ 事業遂行に直接関連し、かつ、必要な支出
 - 必要経費 家事関連費 家事費
 ＊家事関連費は、明らかに区分できる場合に、必要経費に算入できる。
- (3) 必要経費と家事費の区分が問題となる主な経費
- イ 租税公課
 - ロ 水道光熱費
 - ハ 旅費交通費
 - ニ 通信費
- ホ 損害保険料
 - ヘ 修繕費
 - ト 給料賃金
 - チ 地代家賃
 - リ 借入金利子
 - ヌ 接待交際費
- ＊接待先、接待内容が明らかでない場合、家事費と推認される。(判例)
- 4 その他
- (1) 資本的支出と修繕費
 - (2) 青色事業専従者給与、事業専従者控除
 - (3) 同族関連法人との異常な取引
 - (4) 社会保険診療報酬が5,000万円超の場合、措置法26条の適用制限
- 以上、1時間ほどで、留意事項の説明が述べられた。
- 次に、熊本東税務署和気統括国税調査官による、消費税についての説明が30分ほど述べられ、質疑応答に移り、最後に、富田理事の挨拶で閉会となった。

委員会だより

厚生委員会

「熊本市歯科医師会共済規程について」

会員の高齢化、増加に伴ない、共済互助の安定化、内容の充実化を図る為に一部規約改正を行い、会費の見直しを行う。

本会（熊本市歯科医師会共済会）の目的は会員相互扶助の精神に則り、会員の福祉共済を図ることとし、委員長1名、若干名の委員を置き、熊本市歯科医師会々長以下役員が兼務し、役員の任期は熊本市歯科医師会役員の任期に準ずる。そして熊本市歯科医師会々員をもって組織し、第1条から第7条より成る。

- 第6条①会員死亡の場合、遺族へ弔慰金50万円及び花環1ヶ、生花1ヶ贈呈。
- ②会員廃疾の場合、共済々50万円の贈呈。
- ③疾病其の他の事故により、1ヶ月以上臥床されると考えられる場合、臥床されてから1年間に1回見舞金2

万円の贈呈。

④会員の妻が死亡の場合、弔慰金5万円及び花環1ヶ贈呈。

⑤会員の家族（親子）の死亡の場合、弔慰金5万円及び花環1ヶ贈呈。

⑥会員が天災其の他の災害に逢った場合、見舞金の贈呈。但し、その額は5万円以下とし、被害の状況により、その都度委員会で決定する。

第7条 共済会費負担金の賦課徴収方法

科 目		年賦課額	賦課方法	徴収方法
共済会費	初回金	50,000円	1 回	入 会 時
	負担金 (一般親子、勤務)	12,000円	12 回	毎 月 (各1,000円)
	(終 身)	2,000円 (死亡された月)		死亡された都度

※第6、7条は平成元年4月付で一部改正されました。

伝言メモ

スタッフ研修セミナーご案内

・ 日時 平成3年7月6日(土) 13日(土) 4日間 (2:00~5:00PM)

・ 会場 熊本流通情報会館 熊本市流通団地内

・ 参加資格 歯科衛生士、歯科助手、受付

・ 参加料 一名四千円(初日各医院負担分)

・ 定員 80名

・ 申し込み受付 6月末日電話にて申し込み

TEL 096-343-4382

《ちょっとBREAK》 Part I

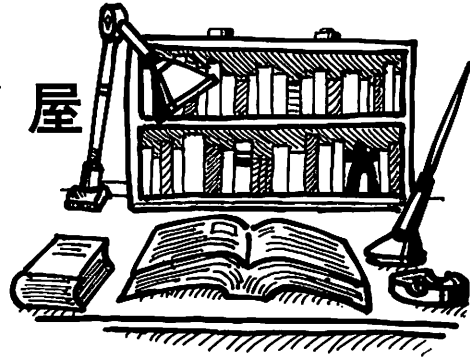
1) キシロカインの発見

特に今日、最も多く使用されているリドカインは偶然に発見された局所麻酔剤の一つである。スウェーデンの Lfgren は、この地方の動物が冬になるとほし草を食べ、そのために出血性の病気になるので、その研究を行っていたところ、この病気の原因となる化学物質を発見するとともに、1943年(昭和18年)に Lfgren と Lundqvist がリドカイン(Xylocine)を合成した。リドカインはプロカイン以来の画期的な局所麻酔剤で、作用発現が速やかで、麻酔力も強いという特徴のため、利用範囲が広がり、特に他の麻酔剤で十分に効果が発揮できなかった硬膜の麻酔や神経ブロックに対して使用され、これら麻酔方法の臨床的価値を高めた一方、このリドカインの出現により、以後のアミド結合型の局所麻酔剤の合成に貢献した。

2) エピネフリンの発見

1897年(明治30年)、米国の John Abel がエピネフリンを発見、同年ドイツの H. Braun がコカイン溶液にエピネフリンを加えると吸収を遅延し、麻酔時間を長くすることを発表。1898年(明治31年)、ドイツの August Bier が脊髄麻酔の臨床使用に成功、また1899年(明治32年)、ドイツの Korff が迷走麻酔、すなわちスコポラミン、モルヒネの混注に成功した。同年、ドイツの Schleich が「無痛手術」Schmerzlose Operationen 第4版を刊行(第1版は1894年(明治27年)刊)した。また1900年(明治33年)、Engen Schneiderlin も Morphin-Skopalaminnarkose を報告している。

勉強部屋



症例研究

拔牙後感染—慢性化膿性顎骨骨髓炎

伊 東 隆 利

はじめに

高齢化社会の到来、疾病構造の変化などの社会変化は、在宅歯科診療、有病者歯科治療が話題になるほどに開業歯科医院にいろんな影響を与えている現況である。

なかでも従来歯科治療に来院するのが困難であった各種の慢性疾患をもった有病者がわれわれの門戸を健康人と同じようにたたくことになったことは開業歯科医にとって注意を喚起する必要がある。

今回、抗生物質の発達により感染症、特に拔牙後の感染は減少したといわれながらも、糖尿病、リウマチ、喘息、悪性腫瘍、腎透析などの治療を受けている有病者については、拔牙後の管理は非常に重要であることを症例を通じて考えてみたい。

症例

症例：46才男性

主訴：右下顎部の腫脹

初診：平成2年10月18日

既往歴：15年前よりリウマチにて加療中。

現病歴：平成2年8月76部の疼痛があり某歯科受診。77の拔牙を受け一時消退。しかしながら9月中旬同部に腫脹、疼痛再燃、別の某歯科

にて57の拔牙を受けた。術後疼痛、腫脹、開口障害が増悪の傾向にあったので、某内科にてセフェム系抗生剤（CEZ）の点滴静注を受ける。長期の内服抗生剤投与、そしてCEZの副作用により下痢がつづき、脱水、全身衰弱著明となり、某市民病院救急外来に10月1日急患として搬入された。偽膜性大腸炎の診断の下に中心静脈栄養、点滴静注などの全身状態改善治療を受け、同院歯科受診。同医より外科処置の必要性の説明を受け当院受診。

全身所見：全身状態の改善とともに、中心静脈栄養より経口摂取が可能となり、2週間後にはやや貧血を認めるものの歩行が可能な状態になった。

局所所見：右下顎部にびまん性の腫脹と開口障害、（1QFB）、開口時疼痛を訴えた。右顎下リンパ節には拇指頭大の腫大を触知した。

65部には瘻孔を認め茶褐色の排膿を認める。47は開放性根管で、根管洗浄を行うと瘻孔より排液し交通を思わせた。

X線検査所見：37から右側臼歯部、下顎角部、上行枝下顎切痕に至るまで、大小不整の虫食い状の吸収像を認め、CT像によると小臼歯部の骨皮質、骨髓の破壊が認められた。



初診時のパノラマ写真

診断：抜歯後感染—慢性化膿性下顎骨骨髓炎。

処置：偽膜性大腸炎のため、すべての抗生剤を休止。全身状態の改善をまって、細菌検査の結果に従い、チエナム酸点滴静注（0.5g×2回）、キノロン系抗菌剤（3T/日）で経過観察を行ったところ排膿は減少したが、根治的な治療が望まれた。

内科、リウマチ科、麻酔科と相談の上、ステロイドカバー、Osteoporosis、麻酔上の問題について、照会が行なわれ、根治的外科処置に耐えられるであろうとの判断から、平成2年12月18日全身麻酔の下に、手術が行なわれた。

上行枝前縁から75部歯槽頂部を通り4+3歯頸部に沿った切開を入れ、下方に剥離すると表面の皮質骨は一部外形を保っていたが、探針で刺すとブスブスッという感じで、中の海綿骨はほとんどがブヨブヨした不良肉芽と化していた。432を抜歯後、不良肉芽を除去すると骨髓腔はなくなり、下歯槽神経、動静脈が露出した状態となった。徹底的に腐骨の搔爬除去を行ない、顎下部へ持続吸引チューブを出し、口腔内は一時的に縫合した。

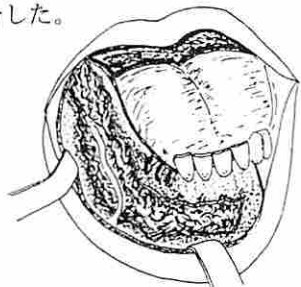


図1 手術時所見

術後心配したショックもなく、順調に経過し、10日後に抜糸した。その間強力に抗生剤の点滴静注を行うと同時にステロイドカバー療法を行った。

術後、高血圧、頻尿、貧血が軽度認められたが、いずれも、原疾患であるリウマチ性のものであると考えられ、内科医の定期的な経過観察をお願いした。

術後3ヶ月を経過するが、再腫脹、排膿もなく経過は良好である。

しかしながら、広範囲の歯槽骨の欠損を今後いかに顎補綴するか、考慮中である。

考 察

抜歯後感染あるいは治癒不全に引きつづいて急性炎症があれば、すぐに加療することも多く初期治療が功を奏して治癒に向うことが多い。しかしながら抵抗力減弱状態の場合、現われる局所症状が明瞭でないこともあって手遅れになることがあるので注意を要する。

糖尿病などの代謝性疾患、リウマチ、喘息、膠原病などでステロイド剤の長期服用者、悪性腫瘍のために抗癌剤を投与されている者、人工透析を受けている人などに共通していることは、免疫能が低下しており、通常健常人であれば発症しない感染症が発生しやすい素地があり、いわゆる日和見感染を起こしやすいことである。

こうした患者は日常われわれの診療室に時々見かけることがあり、余儀なく抜歯や切開などの観血的処置もなされているようである。ここに抗生物質の発達により、菌性感染は一見解決されたかに見えたが、こうした対象患者の変化により、尚一層の困難性を持つに至っている。

本症例の最初のきっかけは日和見感染により発症したと思われるが、初期に適切な診断と治療がなされなかったために遷延化したものである。

こうした継発症の予防としては、

- ①初診時の診断：特に炎症の原因、炎症巣の拡がりを考えること。特に骨髓炎初期にはX線上でも著名な変化がないので、骨梁構造に注視することが必要である。現病歴、周囲歯牙の打診、動揺、歯肉の観察特に口唇の麻痺の有無が重要である。
- ②内科主治医と密にコンタクトをとり、原疾患、全身状態の評価を行う。抗生剤の種類、量、

期間、抜歯など観血処置のタイミングをよく協議する。

- ③抜歯、切開などの前に十分な消炎療法を行うこと。
- ④適切な外科処置。
- ⑤予後の観察を充分に。

以上、症例を通じて、有病者の抜歯後の管理の重要性について考えてみた。

《ちょっとBREAK》 Part II

義歯（入歯）の歴史

木床義歯は木彫義歯、木製義歯、木床入歯あるいは皇國入歯などともいわれ、わが国固有のものと考えてよく、わが国の歯科医療のなかで極めて特異な位置を占めるものである。

今、日本に現存する木床義歯の数は150前後あると推定され、そのうち使用者の判明している最古のものは、天文7年（1538）に74歳で大往生した和歌山市にある願成寺の創始者、仏姫中岡テイが使用していたと伝えられ、その寺に保存されている上顎の木床総義歯で、今から342年前のもので、まさに世界最古の総義歯である。また、昭和27年（1952）8月に大阪大淀区の勝栄寺で発見された延寶元年（1673）に60歳で没した難波海老江の庄屋、羽間彌次兵衛浄心信士が使用していたという天然歯応用の黄楊床下顎の総義歯と、昭和2年（1927）6月に東京下谷の圓満山廣徳寺で、徳川將軍家光に仕えた柳生飛騨守宗冬の墓所から発見された上下顎の蠟石歯応用の黄楊床上下顎の総義歯などである。宗

冬は慶長18年（1613）に生まれ、延寶3年（1675）に63歳で没しているのので、この両者の生存期間を昭和55年（1980）より逆算すると今から305～367年前ということになるし、また入歯を装着しなければならない年齢を考え併せると、この両者は1650年代に作られていたと推定されるので、今から330年前ごろにはすでに木床義歯の製作技術はほぼ完成されていたことになる。

一方、外国ではPierre Fauchard（1618～1761）が1728年（享保13年）に初めて上顎総義歯を作ったが、それ以前までには上顎総義歯の製作は全く不可能とされていた。しかし、Pierre Fauchardのものは木床義歯のように床のみで吸着させて維持する方法ではなく、下顎総義歯と弾線（スプリング）でつないで上顎総義歯を保持したもので、この点わが国の木床義歯は今日の総義歯の維持法と差がなく、しかも近歯科学の父といわれたFauchard誕生前にすでに立派に実用化していたことは歯学史上特筆されなければならない。

歯学史資料図鑑より

特 別 寄 稿

サンアントニオ市を訪れて

熊本市立熊本市市民病院歯科 川 口 辰 彦



市の中心部を流れるアントニオ川

平成2年12月26日～30日、熊本市との姉妹都市であります米国テキサス州サンアントニオ市を訪れる機会を得ました。その際の様子について簡単に報告させて頂きたいと思います。

私は、熊本市市民病院医師海外派遣（研修）制度の適用を受け、平成2年8月20日～3年3月31日、カリフォルニア大学サンフランシスコ校及びその関連病院で研修することになっていました。その間、できれば姉妹都市であり、また米国で有名な観光都市でもあるサンアントニオ市を訪れたいと、かねてより熱望しておりました。そう思っていたところ、幸いなことに昨年6月29日～7月1日に熊本市歯科医師会のお招きで来熊されたテキサス大学歯学部（サンアントニオ）のルー教授（口腔外科学）ストーリー教授（矯正歯科学）の学術講演会を聴講する機会を与えて頂くとともに、市歯科医師会長中根先生、また理事伊東先生をはじめ多くの会員の先生方の御親切により、ルー、ストーリー両教授夫妻を御紹介頂きました。その御縁で、今回の機会ができたという次第です。勿論、その他に田尻靖幹市長からサンアントニオ市 Cookrell

市長へのメッセージを頂いたことをはじめ、熊本市交流室の皆様の御尽力や、多くの方々の御協力があり実現したこともいうまでもありません。この間の行動については、表1に示した通りで、私に対しては一市職員、また一歯科医師として、関心のあるところを盛り沢山にセットして頂くと共に、一緒に行った家内に対しては、教授夫人やホストの先生方が連日、博物館や名所旧跡などを案内して下さい、きめ細かな御配慮をたまわりました（写真1、2）。

今回の7ヶ月半の研修は、いわゆる「単身赴任」でまいりましたが、このサンアントニオ市訪問の前後10日間は家内も渡米し、およそ10年振りに二人で過ごしました。というのも、私は日本においてさえ、社会常識やマナーが欠けている面があり、他国での交際には不安があったことや、女性目と違った面を見てもらいたいなどの思惑もあったからでした。これは予期していた以上に好評で、彼らによると、とかく日本人の場合、男性中心で行動する傾向があり、夫婦で訪問することは極めて稀だそうで夫人方から特に誉められました（但し、幼い3人の子供達には寂しい冬休みを過ごさせてしまいました）。詳しい内容については、今回、とても述べられませんが、2、3、テキサス大学の教授や、国際交流に関心のある開業医の先生方からお聞きしたことをお伝えしたいと思います。

まず歯科の技術的なことは、日本と米国での間には殆ど差がなく、むしろ日本の方が進んでいる面が多く、わざわざテキサスまで習いに来

る必要はないのではないか。また、テキサスには、日本の東京や、米国の西海岸の都市のように優秀な通訳がおらず、講演会とか講義を目的とした交流は現段階では無理ではないか（熊本でもそうではないかなあということでした）。むしろ、今回の我々のように互いが渡米あるいは来日した折に連絡しあって、お互いの市を訪問するとか、歯科医師の子弟が夏休み中のホームステイや、語学、研修、その他の目的で留学したり、互いの市の、例えば「市民の翼」などのような機会に積極的に参加するなどを通じて友情を深め合うなどが、まず当面良いのではないかとおっしゃっておられました。

その他、報告したいことは沢山ありますが、まだ帰国後2週間たらずで整理していませんので簡単に述べさせていただきました。

最後になりましたが、常日頃より、私達熊本市市民病院歯科の臨床活動を励まし、御指導、支持して頂いております熊本市歯科医師会会長中根俊吾先生をはじめ、会員の先生方にはこの場を借りまして深く御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

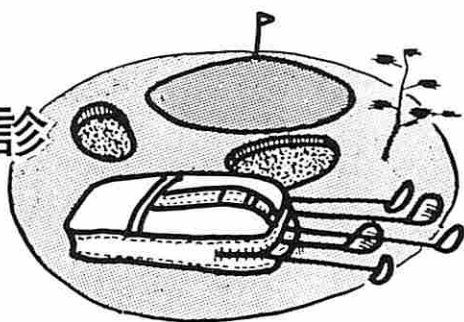


ルー教授御家族との楽しい夕食
(ルー教授宅にて、中央は私の家内)

表1 サンアントニオ市での行動日程（平成2年12月26日～30日）

12月26日	6：30PM サンアントニオ国際空港着（ストーリー教授御夫妻お迎え） 7：30 教授御夫妻と夕食（フランス料理） 9：00 テキサス大学ゲストハウス着
12月27日	（ホスト：矯正歯科開業医ルーキー先生） 8：00AM 迎えに来られ、朝食（アメリカン料理） 9：30 公衆歯科学パルデラス助教授よりコミュニティーデンティストリの個人講義 11：00 ルー教授によりキャンパスツアー 0：00PM ルー教授とストーリー教授夫人と昼食（イタリア料理） 1：30 サンアントニオ市保健センターを見学 3：30 サンローザ小児病院を見学 4：30 ルーキー先生御家族とメキシカン市場散策及び夕食（メキシコ料理）
12月28日	（ホスト：一般歯科開業医ハリス先生） 7：00AM 迎えに来られ朝食（ヨーロピアン料理） 8：30 テキサス大学歯学部特殊診療科見学、ロビンス助教授より個人講義及び手術場見学（全身麻酔下歯科診療） 11：30 ロビンス助教授と昼食（ベトナム料理） 1：30PM バリオクリニック見学（貧民層への診療） 4：00 サンアントニオ市役所表敬 6：00 ルー教授宅にて夕食
12月29日	（ホスト：ストーリー教授） 9：00AM 迎えに来られ、朝食（アメリカン料理） 10：00 ストーリー教授の案内で市内観光 0：00PM 自由観光（アラモの砦、リバーウォークなど） 6：00 ストーリー教授宅にて夕食
12月30日	（ホスト：ストーリー教授） 9：00AM 迎えに来られ、ランチ（メキシコ料理） 10：00 植物園（熊本園）、その他見学 2：00PM サンアントニオ国際空港発（ストーリー教授のお見送り）

本日休診



＝日中歯科交流のはじまり＝

中国広西壮族自治区人民医院口腔科医師陳湘灿先生

歓迎行事顛末記

伊 東 隆 利



平成2年10月24日、窓から瀬戸大橋が一望に見わたせる、ここは岡山県児島ホテルのバンケットホール。今朝、中国よりこられた陳湘灿先生も招待外国人の一人として前の方のテーブルについて、韓国の関教授と何やら話しておられる。昭和天皇の御息女池田厚子様御夫妻を招いての日本口腔外科学会外国人、役員懇親会のパーティは瀬戸の潮風を浴びながら更けていった。

この日から一週間、陳湘灿先生を通じての民間レベルでの日中歯科医学交流が熊本で進むことになった。パーティにつづいての2日間は岡山国際ホテルで10の会場に分かれ、日本口腔外科学会の特別講演、国際シンポジウム、一般講演、示説発表が行なわれ、これを精力的に見て聞いて話して廻った。私も座長の1人として務めを果たし、また外科矯正手術前後の顎運動に

ついでの最近の研究を一般演題として発表した。

10月26日の夜遅く熊本へ。その夜、陳先生は私の自宅にホームステイ。タタミにふとん、ユカタを楽しそうにくつろぐ。

明けて27日は熊本と広西壮族自治区の間における日中医学交流の創始者である白男川史朗熊本県医師会会長を表敬訪問。先生の菊陽中央病院で、幹部職員の歓迎を受け、しばし交流の時を持つ。同病院では5人の中国人医師の熊本留学を受け入れ、さらに現在3名のパラメディカルスタッフの留学生受け入れを検討中であるとのことであった。午後は池上先生のオフィス見学。

夜は私の自宅でホームパーティ。昨年7月の中国の学会のスライドをうつしながら、思い出話に花が咲き、子供達の歓迎のピアノ演奏に嬉しもう。

翌28日は池上先生夫妻で阿蘇へ案内。垂玉温泉では露天風呂に共に入り、裸のおつきあいをしたと聞く。この日も含めて3日間は池上先生御自宅にホームステイ。

29日、月曜は、熊本市役所国際交流室、保健衛生局、市民病院へ表敬訪問。国際交流室には陳先生のビザの発券、航空券の手配などをお世

話になった。保健衛生局長服部公雄氏は第一回の桂林への訪中団の団長だったということで話ははずむ。市民病院では、歯科室そして、同院のほこる新生児医療センターを広田院長先生の案内で見学。

30日は朝から陳先生のたつての希望で、私の医院での下顎前突症の外科的矯正手術を見学。中国では上顎前突症が多く、上顎に対する手術は多いが、下顎前突症に対する手術、特に私のやっている Obwegeser Dal-pont 法はむづかしく、やっていないとか…。手術を終えて大変参考になったと喜んでいただけた。いろんな手術器械を見て質問を受けたので、欲しいものはあげますということで、私の愛用のいくつかの手術用器械をプレゼントした。

昼は私共の医院の歓迎会で、昼間のことゆえアルコール抜きでのパーティとなった。挨拶、スライドあり、日本舞踊あり、プレゼント交換などアルコールなしでも楽しくやれた。

昼からは、これも陳先生たつての依頼で人工歯根埋植手術。興味はあるが中国ではとてもそんな高い医療は出来ない、とうらやましそう…。



さあ今夜の7時からは最大の企画である「熱烈歓迎会」。ホテルキャッスル「ロワール」へ。

白男川医師会長、宇治県歯科医師会長、中根市歯科医師会長、日中交流協会副理事長山内氏、河津TKU社長、広田市民病院長、酒井日中交流協会事務局長、県の国際課、医務課、市国際交流室を迎え歯科関係約20人、留学生約10人、総数50人で歓迎の夕べを行うことができた。

陳先生も前夜遅くまでかかって覚えた日本語での挨拶を見事にされ、拍手喝采。

中国の歯科医療事情について話し、日本の先生方のご援助をお願いしたい旨、挨拶があった。パーティのあとも夜遅くまでこれからの日中歯科医療交流について熱い議論が沸いた。

翌朝、いよいよ最後の日を迎えた。この一週間、通訳の姚君もよくつき合って寝食を共にしてくれた。お二人ともやや疲れが見えたが、今日は福岡から北京に帰る前に、九大歯学部、福岡歯科大学の見学が予定に入っている。

九大では田代口腔外科学教授にすみからすみまで案内していただき、また中田小児歯科教授には国際協力事業団の事業の中での歯科研修コースの説明を受けた。福岡歯科大学では福岡口腔外科教授に手術室を中心に案内していただいた。

陳先生は両大学とも素晴らしい設備に囲まれ、学生がうらやましいと言っておられた。そういえば昨年7月に見た広西医学院口腔科病院の実習室の設備の貧弱さにはびっくりしたものだった。

14:30発福岡発北京行、陳先生は機上の人へ。3時間で北京へ着く。本当に近くて遠い国、中国。

12月5日、本行事の会計報告をかねて、白男川先生、池上、片山、そして私の四人で反省会と称して食事を共にした。席上白男川会長より歯科医交流のための基金づくりをしてはどうかと呼びかけられ、白男川会長自ら、顧問になっていただくことになった。近々同好の先生方にお集まりいただき、日中歯科医学交流の推進グループを作らねばならないと考えているところである。

最後に多くの方々に陳先生歓迎のことで、お世話になったことを誌上を借りて感謝いたします。

新 入 会 員 紹 介



1 氏 名 免 出 智 英

2 住 所

(自 宅) 熊本市水前寺公園27-24

T E L 384-2928

(診療所) 熊本市新南部町373-3OMビル5 F

T E L 386-1555

3 生年月日 昭和35年2月18日

4 趣 味 モータースポーツ

5 好きな言葉

6. 経 歴

S 53. 3 月 大阪啓光学園卒業

S 59. 3 月 福岡歯科大学卒業

S 59. 6 ~ S 61. 7 花田歯科医院勤務 (福岡市)

S 61. 7 ~ H 1. 9 森永歯科医院勤務 (熊本市春日)

H 1. 10 ~ H 3. 2 小柳歯科医院勤務 (熊本市国府)

H 3. 4. 1 めんで歯科クリニック開院

7. 家族構成

妻 : 道美

長女 : 理沙



1. 氏 名 宮 本 浩 幸

2. 住 所

(自 宅) 上益城郡益城町木山辻の城84-1

T E L 286-0135

(診療所) 熊本市東野1丁目15-18東野プラザ1 F

T E L 368-8929

3. 生年月日 昭和36年9月24日

4. 趣 味 テニス、ゴルフ、囲碁

5. 好きな言葉 人間万事塞翁が馬

6. 経 歴

S 55年 私立真和高校卒業

S 56年 九州大学歯学部入学

S 62年 " 卒業

S 62 ~ S 63. 6 月 医療法人幸正会

S 63. 8 月 ~ H 2. 12 月 小山歯科

7. 家族構成

妻 幸樹実

子 6 月出産予定

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
2月22日	第31回理事会（総務、庶務、会計、委員会報告、協議）
3月19日	第32回理事会（ " 同上）

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
12月14日	平成2年度市学校保健会誌について 平成3年4月開設予定 長嶺小・長嶺中の校医について
1月25日	はみがき巡回指導について 熊飽地区学校歯科医の件について 長嶺小・長嶺中の校医の件について
2月20日	平成3年度事業計画案について 1000名以上、学校歯科医2名以上選定の件について（案） 旧飽託郡の学校の学校歯科の推薦
3月12日	平成3年度児童生徒1000人以上2人制に伴う学校歯科医の推薦について

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
1月11日	フッ素塗布、3才児検診、天草パールラインマラソンについて
3月26日	天草パールラインマラソンの反省 在宅医療の予算について

医療管理委員会

月 日	協 議 題
1月23日	税務説明会の打合せ（2月2日）

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
12月8日	合同委員会研修会の反省
1月30日	第2回ビデオ研修会（歯周外科）について 3月15日 第3回 " （スルフォン床義歯）について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
1月9日	ビデオ研修会について（1月30日）
2月6日	ビデオ研修会（スルフォン義歯）について（3月15日）

厚生委員会

月 日	協 議 題
1 月 11 日	新年パーティの打合せ
2 月 12 日	新年パーティの反省会
3 月 15 日	生命保険と年金について
4 月 5 日	バレーボール大会の日程について（6 月 30 日） 歯科医師の国民年金基金について

広報委員会

月 日	協 議 題
12月19日	「中岳」72号編集「かわら版」1月号（H3）編集
12月26日	「中岳」72号原稿校正「かわら版」校正
1 月 16 日	「中岳」72号第1回校正
1 月 22 日	「中岳」72号第2回校正「かわら版」2月号編集
3 月 27 日	「中岳」73号編集「かわら版」4月号の編集



不順な天候だった冬もようやく終わり、若葉が目眩しい毎日となりました。この4月熊本市歯科医師会も新しい体制となり、我々広報委員会も委員の入れ替わりがありました。この季刊誌は新委員会として出版する初版であります。自己満足でしょうが、この初版に私たちの並々な情熱を表現できたと確信しています。

しかしまだ情熱のみで中身が伴っていません。これから内容の濃い会誌を目指していますので、なお一層の御協力の程よろしくお願いします。

T・N

熊本市歯科医師会会誌

第 73 号

発行日 平成3年5月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社白瀬

熊本市水道町13番14号

TEL (356) 3593